

宮代町学校給食運営審議会 第1回会議録

開催日時	令和8年3月19日（木） 午後3時00分～午後4時50分	会場	宮代町立給食センター 2階会議室
------	---------------------------------	----	---------------------

委員出席状況

	氏名	出欠		氏名	出欠		氏名	出欠		
1	鈴木 仁志	欠席	6	金野 泰久	出席	11	栗原 利夫	出席		
2	平山 隆志	出席	7	竹内 知子	出席	12	石崎 徳幸	出席		
3	井浦 剛	欠席	8	高野 桂子	出席	13	島村 岬	出席		
4	杉木 夏苗	欠席	9	山口 隆夫	出席	14	鈴木 貴子	出席		
5	吉田シゲ子	欠席	10	谷 義明	出席					

栄養教諭 大海 康輔、栄養教諭 神田 莉果
 教育総務担当副課長兼給食センター所長 小川 雅也 /主任 埜中 美也

会議次第

1. 開 会
2. 挨拶
3. 自己紹介
4. 正副会長選出
5. 議 題
 - (1) 令和7年度学校給食事業評価について
 - (2) 学校給食喫食状況について
 - (3) 食器破損の状況について
 - (4) 地場産農産物の活用状況について
 - (5) 令和8年度学校給食予定について
 - (6) 食材費価格高騰への対応、小学校給食費無償化について
 - (7) 検討事項について
 - ①アレルギー対応者のおかわりについて
 - ②給食着について
 - ③グループ会食について
 - ④牛乳パックのリサイクルについて
6. その他
7. 閉 会

1 開会

【事務局】(小川副課長)

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから令和7年度第1回学校給食運営審議会を開会いたします。

本日、次第の4、正副会長選出までの進行を務めます学校給食センター所長の小川でございます。

よろしく願いいたします。

本日の出席委員は、10名です。

宮代町学校給食運営審議会条例第6条の規定に基づく定足数に達しておりますので、はじめに御報告いたします。

はじめに、本審議会の概要を申し上げます。

本日お配りした別紙、「宮代町学校給食運営審議会条例」を御覧ください。

本審議会は、第1条にあるとおり学校給食の適正な運営を図るとともに、児童・生徒の心身の健全な発達に寄与するため、設置されています。

第2条は本審議会の調査審議事項となり、町教育委員会からの諮問に応じて給食計画等を所掌しています。

第3条の組織ですが、第1号から第8号に掲げる方にご参加いただいております。

第4条の任期についてですが、原則4月1日からの2年となっておりますが人事異動等もありますので、1年ごとに状況を確認させていただいております。

2 挨拶

【事務局】(小川副課長)

次第の2、挨拶、審議会の開催にあたり、本来であれば、宮代町教育委員会、教育長の島村から御挨拶させていただくところですが、本日は公務のため欠席させていただいておりますので次第3に進みます。

3 自己紹介

【事務局】(小川副課長)

次第の3、それでは、第1回の会議となりますので、ここで委員の皆さまに自己紹介をお願いしたいと存じます。はじめに、事務局から自己紹介を行いまして、続いて、お手元の資料の名簿順で行いたいと思います。

事務局 → 栄養教諭 → 委員名簿順

ありがとうございました。

4 正副会長選出

【事務局】(小川副課長)

それでは、次第の4、正副会長の選出に移ります。

審議会条例第5条の規定により、審議会には、会長及び副会長を置くこととなっております、会長が会議の議事進行を進めることとなっております。

昨年度、学校給食研究委員会の会長を務めておりました栗原委員に会長、副会長には、識見者として委員をお願いしております食生活改善推進員協議会の吉田委員を選出させていただいております。審

議会条例第5条第5項において、会長及び副課長の任期は、当該委員の任期とするとされていますが、今年度につきましては学校給食研究委員会の会長であります、金野委員に会長を、副会長には学校歯科医師会代表 平山委員でお願いしたいと考えておりますので皆様から御承認をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

<全員了承>

次第の5「議題」からの進行につきましては、金野会長に進行をお願いしたいと思います。金野会長、よろしく申し上げます。

<全員了承>

次第の5「議題」からの進行につきましては、金野会長に進行をお願いしたいと思います。金野会長、よろしく申し上げます。

5 議題

【会長】(金野校長)

それでは次第5に入らせていただきます。

はじめに、(1)「令和7年度学校給食事業評価」について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(事前配布資料の「令和7年度学校給食事業評価」に従い説明)

【会長】(金野校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

令和7年度学校給食事業評価はこのとおりとさせていただきます。

次に(2)学校給食喫食状況について、栄養教諭より説明をお願いします。

(大海栄養教諭)

3学期以降の喫食状況について説明。

小学校は95%前後、中学校は97%前後の喫食率でした。パン、麺は喫食率が良かったです。魚、煮物、郷土料理の献立は喫食率が低くなっている傾向にあります。行事食は食育の観点から、子どもたちが食べやすい味付けで今後も提供していきたいと思います。インフルエンザが流行し、学年閉鎖等がありましたが、町全体で給食を振り分けました。外国料理については聞きなれない料理が出たと思いますがよく食べていたと思います。

以上です。

【会長】(金野校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (3) 食器破損の状況について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(当日配布資料「食器破損状況集計表」に従い説明)

食器の破損の件数に関しましては累計の整っている1月末日現在にて、令和8年度と令和7年度の資料を配布いたしました。

陶器を使用しているため、経年劣化によりひび割れ等がどうしても発生する状況です。

特に汁椀については、椀の底が抜けることが多いと報告を受けています。

破損については随時給食センターで確認し新しいものに取り換えています。どうしても小さなひび割れなど、目視では限界があるため、学校にそのまま配送されてしまう現状があります。

今後も、確認は実施していきますが、各学校へご迷惑がかかることがあるかもしれませんので、御理解賜りますようお願いいたします。

また、今年度につきましては、現時点で児童生徒に怪我等が発生するケースはなかったと聞いております。

引き続き、安全に給食を提供できるよう努めてまいります。

以上です。

【会長】(金野校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

【会長】(金野校長)

次に (4) 地場産農産物の活用状況について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(当日配布資料「地場産食材の使用報告」に従い説明)

今年度の現在の使用状況、前年度の使用状況を配布させていただいております。

令和7年度は米飯につき大きな変更がありました。これまで米飯の委託を請け負ってくださっていた全国農協食品株式会社が米飯委託を辞退され、令和7年度から米飯は学校給食会の手配により岩槻工場からの支給となりました。米飯については、思ったほど悪くないという御意見がある一方で、やはり配送時間の関係から水分が多いという御意見もいただいております。

野菜については、新しい村から購入できる際にはそちらから購入するよう努めております。他産地のものを使用している場合、シーズンとなり地産のものが出れば、そちらを購入するよう切り替え、工夫しています。

今後も地場産野菜の町内の農家の皆様・新しい村と協力しながら積極的に活用を努めてまいります。

以上です。

【会長】(金野校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (5) 令和8年度学校給食予定について、栄養教諭より説明をお願いします。

(神田栄養教諭)

(当日配布資料「年間給食計画表・給食年間回数」に従い説明)

年間給食回数は184回です。4月10日給食開始、小学1年生は4月20日から開始です。給食終了は7月14日です。外国料理についてはサッカーのワールドカップ開催をテーマとした料理を出します。郷土料理はお祭りをテーマとして提供します。セレクト給食は1学期、2学期の終わりを予定しています。

以上です。

【会長】(金野校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (6) 食材費価格高騰への対応について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(小川副課長)

(当日配布資料「学校給食費に係る教職員負担額の改訂について、小学校給食費無償化」に従い説明)

近年食材費が高騰していますが、保護者の方の経済的負担軽減ということで給食費据え置きをしております。足りない部分は町より支出しています。令和8年度も補填いたします。

小学校給食費につきましては、令和8年度は国の補助金を活用し、学校給食費の無償化を実施予定です。これにより、小学校保護者よりの給食費徴収はなくなります。

また、不足分の補填は町民からの税金で賄われていることを鑑み、教職員の皆様には前年度同様、実際に食材費としてかかる補填額を含めた費用を御負担いただきます。

事務手続きの詳細については、学校事務の方へ調整させていただきます。

以上です。

【会長】(金野校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (7) 検討事項について、事務局より説明をお願いします。

(当日配布資料「(7) 検討事項について」に従い説明)

2月17日（火）に実施いたしました給食研究委員会にて、お手元にごございます資料のとおり、各学校の給食主任の方々より御意見を頂戴いたしました。主に、①アレルギー対応者のおかわりについて、②給食着について、③グループ会食について、④牛乳パックのリサイクルについてどのようにしていくか、皆様に御意見いただければと思います。

では、次第にあります①アレルギー対応者のおかわりについて、まず御確認いただければと思います。

【事務局】(埜中主任)

それでは「（7）検討事項について」の資料を御覧ください。

はじめに①アレルギー対応者おかわりについてです。

養護部会より、アレルギー対応者のおかわりについて、学校ごとに対応が違っているため、統一してはどうかと意見がありました。

現状を把握するために、2月17日（火）の給食研究委員会にて各学校の給食主任の先生方よりお話を伺いました。

結果はお手元の資料のとおりです。

学校によって対応が違っていますが、学校の規模が違うため、全て同じルールで統一してしまうと、現在対応できているところについても対応できなくなるということも発生するため、統一するのは難しいのではないかと考えます。（例えば、中学校にて自分で管理出来ている生徒や、また年間ほとんど出る可能性の少ないキウイアレルギーの児童について、おかわりできていたものが出来なくなるなどがあるかと思えます。）

学校給食担当で話し合った中では、「原則、対応食の皿についておかわりは不可とする。ただし学校規模が違うため、それ以外の皿についての対応は学校に任せる。」とするのはどうかというところですが、いかがでしょうか。皆様より御意見をいただければと思います。

また、「アレルギー対応者のおかわり」について、こちらの審議会で話し合った方針を「アレルギー対応マニュアル」に掲載したいと思えます。

【会長】(金野校長)

この件について、御意見等はございますでしょうか。

・竹内校長：

百間小学校はアレルギー重度の子がいます。保護者は、よそう時にアレルギー物質が隣の食品に入らないのか心配されてきました。個々のアレルギーの重さによって考えていかなければならないのではないのでしょうか。今は最初によそうようにしており、それを今後も実施してほしいと保護者より要望はあります。

・高野校長：

小学生は自分で判断が難しいと思えます。最初に多く盛る、が良いのではないのでしょうか。

・山口校長：

アレルギーの子はとても多いです。誤食を防ぐ観点から、最初に多く盛り、おかわりはしない、が良いのではないのでしょうか。

・金野会長：発達段階上、はじめに少し多めに盛る。おかわりは誤食を防ぐためにも4校そろえて無はどうでしょうか。

・大海栄養教諭：小学校は最初に多く盛る、が良いと思えます。

- ・鈴木委員：小学校と中学校では判断が異なると思いますので、今の御意見がよいかと思います。
- ・島村委員：
アレルギーの日は、アレルギー対象の品数を家庭から持ってくることになっている学校もあります。小学校は自分で対応できないと思います。先にアレルギーの子が多く盛ってもらうことを他の子どもがどのように思うかですが、このやり方が良いと思います。
- ・平山副委員長：細かいところは現場対応となると思います。
- ・小川副課長：
アレルギーを持っている子は、毎食おかわりは駄目なのか、アレルギー対応食が出ている日だけ駄目なのか、どのようにしますか。
- ・金野会長：
代替食が出ている時はそれで量は十分かと思います。代替食が出ている時はおかわり不要だと思います。代替食のおかわりは無く、代替食以外のおかわりについて先に盛るといっていいのでしょうか。代替食の入っていない日はフリーでおかわりをする事ができるということでしょうか。
- ・大海栄養教諭：
書き方の問題だと思います。アレルギー対応者としてしまうと全員になってしまうので、「代替食がでていない日」とすれば、代替食が出ていない子についてはおかわりができると思います。
- ・金野会長：
その日に代替食が出ていないということは「アレルゲンはない」ので、通常通りの対応という理解でよろしいでしょうか。

それでは「おかわり」については、「代替食が出ている日は、小学校は発達段階上、はじめに少し多めに盛る。おかわりは誤食を防ぐためにも4校そろえて無。中学校は個々の対応とする。」として、こちらの方針を「アレルギー対応マニュアル」に掲載したいと思います。

次に②給食着について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

続きまして、②給食着についてです。

こちらはまず、令和7年度学校給食事業評価より、給食着について個人持ちについて検討してほしいと意見がありました。

それを受け、2月17日（火）の給食研究委員会にて各学校の給食主任の先生方よりお話を伺った結果は資料のとおりです。

他の家庭の柔軟剤のおいがつくということや、ゴムが伸びたものを給食主任が直しているということもありますが、一方で個人持ちにすると家庭での負担が増えることも挙げられています。

近隣の状況については、杉戸町、松伏町、久喜市、幸手市、蓮田市、春日部市に問い合わせをしたところ、学校保持で実施しているところが、杉戸町、松伏町、幸手市の3市町（しまち）、学校保持と個人保持が混在しているところが久喜市、蓮田市、春日部市の3市町で（しまち）した。混在しているところについては、久喜市のように合併により統一されていないということや、蓮田市、春日部市のように小学校は個人持ち、中学校は学校管理としているケースがありました。杉戸町では、他人の柔軟剤は

嫌、などがあるため、学校によっては令和7年度より家庭からエプロンを持ってきて使用してもよいとしている学校もあるようです。

また、個人持ちとする場合には、学校が保護者へ購入をお願いし、購入しない家庭については再度購入を促していく必要があるというところです。

給食着について、宮代町では現在給食センターが購入し、学校所有となっておりますが、今後、個人持ちにする方向で考えていくのか御意見いただければと思います。

【会長】(金野校長)

この件について、御意見等はございますでしょうか。

・大海栄養教諭：

年度末に給食主任より必要部数を報告してもらっています。予算の都合上すべてにこたえることはできていません。

・平山副会長：1着の価格はどのくらいでしょうか。

・大海栄養教諭：一番小さいサイズで1,100円ほど、中学生のサイズで1,800円ほどです。

・金野会長：

給食着は配膳のために着用、また自分の服を汚さないためにも着用することとなっているかと思えます。小学校、中学校給食着は必要であるということでもよろしいでしょうか。

・谷校長：

私服ではなくジャージなので、給食着は着用しないという学校もありました。配膳の時に埃だらけの服で盛るのはどうかとも思いました。給食着が必要なかと聞かれると疑問はあります。

・島村委員：

自分の子の袖が汚い状態でみんなの給食を盛っているのは嫌です。汚れがついたものを皆が喫食するのはどうかと思いますので、割烹着がよいのではないかと思います。我が家は持ち帰ってきたら洗濯をし、アイロンをかけて返却していますが、個人持ちになればアイロンがけは不要になるのではないかと思います。

・鈴木委員：

中学校は、子どもが給食着を持ち帰ってきたことがない状態で、把握していません。小学生の時は島村委員と同様でしたが、そちらが当たり前だと思っていました。

・金野会長：

他の洗濯物にも柔軟剤のにおいがうつるという声もあります。個人持ちにしたときのマイナス面はどうでしょうか。

・竹内校長：

この時期からこのようになるとお知らせが必要だと思います。ずっと同じものを着ることは出来ないのです、家庭の負担はどうでしょうか。それさえクリアできれば個人持ちがよいのではないのでしょうか。しかし着る頻度は少ないと思います。

・小川副課長：現セットはおよそ3,000円。購入は久喜でしか出来ません。購入は学校でのとりまとめとなるかと思えます。

- ・栗原校長：
今の体制を強化する方がよいのではないのでしょうか。発達段階で変わるのでサイズが変わるごとに購入が必要になります。今は給食着を忘れても学校から貸し出せていると思います。管理上、保護者の負担を考えたときに、今のままがよいのではないかと思います。
- ・金野会長：
自分が育った時と教員の時と、割烹着を着たまま給食を喫食していました。行田市では、配膳は個人持ちの割烹着を着て行き、喫食時は脱いでいました。家庭科で作ったエプロン着用でも高学年はよいとされていました。周知の期間、入学の購入品の中に入れる、アンケート調査等が必要となってくるのでしょうか。月何回かしか着ないので着用頻度が低いということはありません。
- ・山口校長：においは配慮が必要かと思います。アレルギー反応を起こす子もいます。
- ・平野副会長：
方向性は決めた方がよいと思います。現状維持でも、洗濯のルールを決めるなど均質になるよう周知することが必要でしょうか。個人持ちに変える方向であれば、「令和〇年度から入学からこうする」と決める必要があるのではないのでしょうか。運用の仕方を考える必要があると思います。
- ・金野会長：アイロンをかけるという強制力はある気がします。しかし、崩れつつあるようです。
- ・栗原校長：
洗濯して乾かしていることがほとんどであり、アイロンがけを今でもしている、というPTAの方の声に感動しました。要望があった家庭には個別に対応もよいのではないのでしょうか。においが気になるという御家庭については、その家庭用に1つだけ貸し出しをするなどの対応はいかがでしょうか。
- ・金野会長：
宮代町は配膳の際にしか着用していない状況です。令和8年からの実施は厳しいと思います。令和9年度に向けて、変える方向なのか、変えない方向なのかを決めていきたいと思います。
- ・谷校長：柔軟剤が気になる方は個別に購入してもらうのはどうでしょうか。
- ・金野会長：
類似品を用意してくださいとしますか。給食着の着方、取扱いの仕方を周知する必要はあるでしょうか。週末に持ち帰って月曜日に次の子に渡すというルーティンです。中学校のスパンはいかがですか。
- ・栗原校長：中学校は給食当番のスパンが長いです。短くて1か月、1学期中ということもあります。
- ・金野会長：
小学校は1週間です。ルーティンが違いますね。柔軟剤についてはいかがいたしましょうか。オーソドックスなものを使用してもらうことにしますか。
- ・山口校長：
洗濯の柔軟剤一般的なものはないと思います。洗剤にもにおいがあります。申し出があったら配慮しながら柔軟に対応するのはいかがでしょうか。
- ・金野会長：
現在の給食着を売っているのは久喜、その情報は各学校に教えていただきたいです。色は白色で帽子もある、袋もある給食着を買ってくださいとし、その辺りの紹介になりますでしょうか。
- ・島村委員：
自分で探してくださいと投げられると困りますが、気になる方には購入先を提案していますとしても

らであればいいと思います。お子さんよりも洗濯時に保護者が気になっているのではないのでしょうか。給食の食べ物のにおいは気にならず、前の方なのか、染み込んだ柔軟剤のにおいの方が強いと思います。

・金野会長：

これまでの御意見をまとめると、今後、購入先の一覧などを教育委員会から学校に提供し、気になる方にはそちらを紹介するというので、そこから始めていくというようなことでよろしいでしょうか。

それでは「給食着」については「今後、購入先の一覧などを教育委員会から学校に提供し、気になる方にはそちらを紹介するというので、そこから始めていく」という方向でやっていきたいと思います。

次に③グループ会食について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

続きまして、③グループ会食についてです。

こちら令和7年度学校給食事業評価より、グループでの会食を検討してほしい、卒業前グループで楽しく食べる経験もさせてあげたいという意見がありました。

それを受け、2月17日(火)の給食研究委員会にて各学校の給食主任の先生方よりお話を伺った結果は資料のとおりです。

グループ会食の再開を望む声が多く聞かれる中で、現在黙食に慣れているのでこのままで良いのではという声もあるようです。マスクを取れない子もおり、マスクをずらして食べている子もいるので、グループ会食とした場合、そちらへの配慮はどうするのかという問題もあります。

こちらの件につきましても、「学校規模が違うため、各学校の状況に応じて対応をお願いします。」とするのはどうかというところですが、いかがでしょうか。または全学校同じ対応とした方がよいのか、皆様より御意見をいただければと思います。

【会長】(金野校長)

この件について、御意見等はございますでしょうか。

・山口校長：

コロナで黙食とした。現在の形が導入され、現在も継続しています。喫食率が上がっています。今もおしゃべりはしています。コロナ前に戻すのかどうするかということでしょうか。

・金野会長：インフルエンザのB型が流行りました。グループ会食開始のタイミングが見えにくいです。

・竹内校長：

グループにしたとしたら、感染の状況によって前を向くのはいかがでしょうか。教員は前を向いて喫食した方がやりやすいですが、みんなと楽しんで食べることも給食の目標となっています。

・高野校長：

グループの良さもわかっていますが、今の児童は経験がありません。前を向いてでも少し話しをして、楽しく食べています。感染症がはやる時期が頻繁にあります。流行っている時期の方が多いです。前向きは喫食率が良いです。食べ物に向かい合って集中して食べる良さもあります。

・谷校長：

今も楽しく食べています。向かい合っても皆が仲良くワイワイではない状況です。向かい合って食べることに慣れていないのだと思います。

・栗原校長：

今のままで良いのではないのでしょうか。2年ほど見てきて、このままでよいと思いました。グループにした時にきつい子がでてくるのではないかと思います。喫食率が上がっており、メニューと向き合えることから、こちらの良さをとっていく方がよいのではないのでしょうか。給食は現状が良いと思います。

・小川副課長：今のマニュアルではグループ会食禁止となっています。

それでは「グループ会食」については「お弁当を持ってきている時輪になって食べる時もありますので、グループにする必要がある時にはグループにする。学校に任せる。禁止ではなく、基本前向きとし、各学校で特別な際にはグループにすることを任せる。」という方向でやっていきたいと思います。

次に④牛乳パックのリサイクルについて、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

続きまして、④牛乳パックのリサイクルについてです。

こちらの件につきましては、お手元の「給食時間の約束・感染対策強化バージョン」を御覧ください。昨年度も給食審議会に諮り、資料裏面のとおりに、「牛乳パックのリサイクルはしない」となっております。令和8年度からの今後はいかがいたしましょうか。皆様より御意見をいただければと思います。

【会長】(金野校長)

この件について、御意見等はございますでしょうか。

・山口校長：

牛乳が付くだけでもアレルギーが起きるといふ子もいます。パックを開くと、管理することのリスクが心配されます。

それでは「牛乳パックのリサイクル」については「過去一定の成果を上げたと思いますが、牛乳パックはアレルギーや感染のことから、リサイクルはしない、を継続する」という方向でやっていきたいと思います。

検討事項につきましては以上です。みなさま、ありがとうございました。

6 その他

【会長】(金野校長)

次に「6 その他」何かございますか。

(意見、質問なし。)

それでは以上で議事を終わります。

本日は、お忙しい中、第1回学校給食運営審議会に御出席いただきありがとうございました。皆様のご協力により、滞りなく議事進行できました。事務局へ進行をお返しします。

7 閉会

【事務局】(小川副課長)

金野会長、ありがとうございました。また、他の委員の皆様におかれましても、議事進行に御協力をいただきまして、ありがとうございました。

本年度の学校給食運営審議会は本日の1回開催としたいと考えております。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第1回学校給食運営審議会を閉会いたします。

皆様、おつかれさまでした。